

お客様とのあらゆる接点を通じて、地域・コミュニティとともに住みやすい社会を実現する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
地域防犯対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者と連動し、警察関係者とのコミュニケーション強化を継続 ※行政機関、所轄警察署、地域事業者と協議のうえ、適切な感染予防策を講じ実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者、警察関係者と連動し、防犯パトロールに参加 ●特殊暴力防止対策協議会や暴力追放防犯協議会会員として、主に反社会的勢力関連の事案に関して企業間で共有 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者と連動し、警察関係者とのコミュニケーション強化を継続
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザイン視点での店舗・設備の点検を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレ内の配置を検証し、改修に反映(横浜店トイレ改修133百万円) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザイン視点での店舗・設備の点検を継続

安全・安心で健康に配慮した商品・サービスを提供する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●HACCPなど衛生管理知識向上の取り組みを継続 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確化し、店舗品質管理委員会のPDCA活動と食品衛生管理専任者によるサポートを継続 ●衣料・雑貨領域の商品に対する専門機関による商品のサンプリング検査を継続実施 ●従業員のスキルアップのために、ウェビナー研修やeラーニングを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●各店の衛生管理専任者により、食品部門社員、お取引先従業員へのOJTを実施 ●専門機関による年2回の定期点検により課題を明確にし、店舗品質管理委員会と衛生管理専任者が連動した改善活動を実施 ●専門機関によるベビー衣料や季節商品などのサンプリング検査を実施 ●品質管理ウェビナー研修やeラーニングを実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●HACCPなど衛生管理知識向上の取り組みと、表示に関する知識のレベルアップを実施 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確化し、店舗品質管理委員会のPDCA活動と食品衛生専任者によるサポートを継続 ●衣料・雑貨領域の商品に対する専門機関による商品のサンプリング検査を継続 ●従業員のスキルアップのために、階層別研修などを実施
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携して売場の表示を確認・点検し、適切な表示と情報開示を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関による年2回の売場の表示確認・点検を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関による年2回の売場の表示確認・点検を実施し、適切な表示を継続実施

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●ISO14001 定期審査でグッドポイントを拡大するとともに、不備0件を継続	●ストロングポイント：1件、グッドポイント：5件、指摘事項：0件	○	●ISO14001 更新審査において「重大な指摘事項」0件を継続
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●エネルギー使用量：2019年度比2%削減（既存店舗ベース） ●老朽化した設備などの高効率機器への切り替えとLED照明の導入を継続	●営業時間短縮等で6.2%削減 ●4店舗でLED照明導入（178百万円） ●5店舗で老朽化に伴う空調機更新（246百万円）	○	●エネルギー使用量：2019年度比3%削減（既存店舗ベース） ●老朽化した設備などの高効率機器への切り替えとLED照明の導入を継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率：74.6%（2019年度比2.0%増加） ●廃棄物リサイクル率：72.0%（2019年度比1.8%増加） ●引き続き分別・細分化による廃棄物リサイクル率の向上	●食品リサイクル率：82.8% ●廃棄物リサイクル率：73.9%	○ ○	●食品ロス削減への取り組み強化 食品廃棄物発生原単位：29.0kg/百万円 ●廃棄プラスチック発生量の削減 排出量：950トン（前年差▲1.5トン） ●プラスチック製お買い物袋削減 年間使用量：30トン（前年差▲2.2トン）
持続可能な商品の提供				
	●アラスカシーフードなど、認証マーク付き商品の提案を継続	●アラスカシーフードフェアの各店開催およびお中元・お歳暮カタログへの掲載	○	●アラスカシーフードなど、持続可能商品の提案継続
従業員への意識啓発				
	●全従業員に環境教育を実施 ●エコ検定合格者数：70人（合格率90%） ●CSVアイデアコンペを実施するとともに、受賞企画を実現	●全従業員へ環境eラーニング・DVD研修を実施（21年7月～8月） ●エコ検定合格者：108人（合格率87.1%） ●従業員アイデア4企画を実現	○ ○ ○	●全従業員に環境教育を実施 ●エコ検定合格者数：50人

環境関連データ

課題	単位	2019年度	2020年度	2021年度
店舗数	店舗	15	15	10
CO ₂ 排出量 ^{※1※2※3}	t-CO ₂	116,173	96,947	86,750
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量 ^{※1※3}	t-CO ₂	115,753	96,565	86,451
店舗運営に伴う電気使用量 ^{※1}	GWh	211	178	160
店舗運営に伴う水使用量 ^{※1}	千m ³	1,583	1,160	1,084
容器包装使用量	t	1,281	719	330
廃棄物量（リサイクル率）	t(%)	21,060(70.2)	14,129(71.2)	12,532(73.9)
食品廃棄物のリサイクル率	%	72.6	77.8	82.8

※1 集計期間は4月～3月。

※2 店舗運営・本部・法人外商部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

多様な人々が活躍できる社会を実現する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの設置を継続し、親子参加型イベント・マタニティ教室、お取引先様と連携したお客様向け講習会を開催 ●お客様をサポートする専門販売員の新規育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルアドバイザー：10人 ・認知症サポーター：累計5,300人 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス対策のため、集合型のイベントや講習会は行わず、個別相談会を実施 ●新型コロナウイルスへの対応として外部研修は未参加、社内研修は規模を縮小 <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルアドバイザー 未実施 ・認知症サポーター：累計5,148人 	<p>○</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターを継続し、参加型教室や講習会を開催 ●新入社員を中心に認知症サポーター増員 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター：累計5,200人

グループ事業を担う人々の働きがい・働きやすさを向上する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ●男性社員の育児休暇取得率：15.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ●男性社員の育児休暇取得率：50.0% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●男性社員の育児休暇取得率：50.0%
能力向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修受講支援 <ul style="list-style-type: none"> ・動画基礎研修(クリップライン) 新入社員：67人 ・グロービス学び放題 累計受講修了者：800人 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修受講者数 <ul style="list-style-type: none"> ・動画基礎研修(クリップライン) 新入社員：67人 ・グロービス学び放題 累計受講修了者：980人 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修受講支援 <ul style="list-style-type: none"> ・動画基礎研修(クリップライン) 2022年新入社員：29人 ・グロービス学び放題 累計受講修了者：1,200人 ・SC管理運営講座 累計受講修了者：300人
ワークライフバランスの実現	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総実労働時間：1871.3時間 (1人当たりの月間時間外労働：6.25時間) ●年次有給休暇の取得率：50.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総実労働時間：1865.3時間 (1人当たり月間時間外労働：10.3時間、新型コロナウイルスによる特別休暇：年間▲80時間) ●年次有給休暇の取得率：36.1% 	○ △	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総実労働時間：1912.5時間 (1人当たり月間時間外労働：10.0時間) ●年次有給休暇の取得率：50.0%
労働安全衛生への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●社員食堂での健康メニューの提供やオンラインでのメンタルヘルス研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診結果をもとに、肥満者に対し、社員食堂とタイアップし、健康キャンペーンを実施。参加者70%が減量成功(2kg以上) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェック後の集団分析をもとにメンタルヘルスセミナーを実施
多様な人材の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方の多様化に対応した店舗限定社員の登用促進：20人 ●女性管理職比率(課長級)：20% 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗限定社員の登用促進：8人 ●女性管理職比率(課長級)：13.4% (25人、前年+4人) 	× ×	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方の多様化に対応した店舗限定社員の登用促進：20人 ●女性管理職比率(課長級)：16.1% (31人) ●障がい者雇用率：2.7%

人事関連データ

従業員の内訳(2022年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		2,339
	男性	1,481
	女性	858
パートタイマー ^{※2}		1,855
	男性	207
	女性	1,648
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		4,194
	男性	1,688
	女性	2,506
新卒採用者数		37
	男性	8
	女性	29
中途採用者数		1
	男性	1
	女性	0

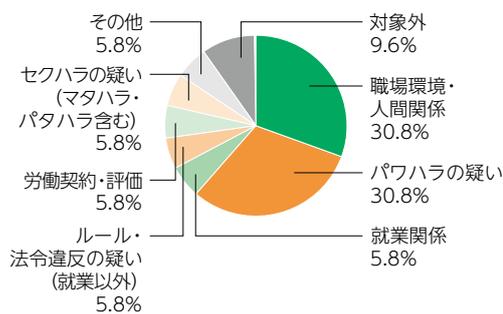
	2019年度	2020年度	2021年度	
正社員平均勤続年数	23年0カ月	22年11カ月	23年0カ月	
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	183人 (7、101)	183人 (3、95)	170人 (6、81)	
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	11人 (0、9)	1人 (0、0)	8人 (0、5)	
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし	
女性管理職数(比率) ^{※4}	327人(35.2%)	230人(33.5%)	121人(23.6%)	
	係長	269人(59.0%)	188人(62.3%)	76人(45.5%)
	課長	35人(13.0%)	21人(10.4%)	25人(13.4%)
	部長	23人(11.3%)	21人(12.2%)	20人(12.6%)
	役員 ^{※5}	2人(8.3%)	2人(8.3%)	3人(15.0%)
障がい者雇用率 ^{※6}	2.22%	2.10%	2.53%	
正社員有給休暇取得率	20.8%	36.4%	37.4%	
労働災害度数率	0.69	0.24	0.32	
労働災害強度率	0.01	0.00	0.28	

- ※1 定年再雇用者204人を含みます。
- ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
- ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
- ※4 役員を除いた係長以上の比率。
- ※5 役員の女性比率は翌年度5月末現在の数値。
- ※6 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

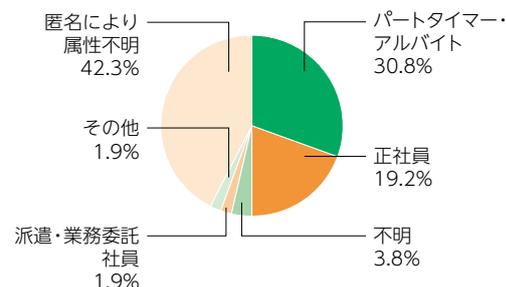
従業員相談受付関連データ

2021年度の受付件数は、前年比6%増となりました。相談内容はパワーハラスメントや職場環境に起因する案件が全体の6割超を占めています。通報が発生した場合は、事実関係を確認し、原因・課題を明らかにしたうえで、顧問弁護士による助言や関連部門との連携により、改善措置を構築し再発防止に取り組んでいます。今後もコンプライアンスやリスクマネジメントに関する従業員研修を定期的実施するなど、意識の醸成と徹底を図ることで、事件・事故の未然防止に努めます。

2021年度相談内容の内訳 受付件数52件(前年度比106.1%)



相談者の内訳



お客様との対話と協働を通じてエシカルな社会を実現する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

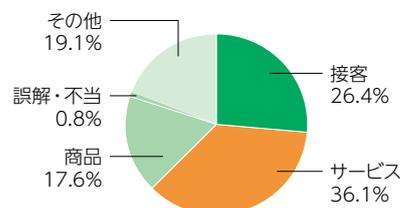
課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
お取引先と連動で環境に配慮した商品の提供やリユースの推進	●各店舗での環境配慮商品の展開を強化	●「世界を変える私のチョイス」と題し、通年でサステナブル商品をご紹介。またエシカルコンビニなどのサステナブルショップを期間限定で実施	○	●納品時の百貨店共通ハンガーリユースを推進 年間：270千本(前年+15千本) ●取引先連動で商品等の回収フェアを実施
お客様の声への誠実な対応(体制)	●店舗やWebサイトに寄せられるお客様の声へのスピーディな対応を継続 ●お客様からの「ご不満の声」の削減:2,100件以下	●各店お客様相談室がハブとなり関連部門と連動し、お客様のお問い合わせ・ご意見に対し原則3日以内に対応 ●2021年度お客様「ご不満の声」：1,599件	○ ○	●店舗に寄せられるお客様の声へのスピーディな対応を継続 ●お客様「ご不満の声」の前年改善

お客様相談受付関連データ

各店舗のお客様相談窓口寄せられたお客様のご意見・ご要望を社内内で共有し、接客レベルや商品の品揃え、付帯サービス、施設などを向上・改善するとともに、営業施策に反映しています。2021年度は、前年度に増加した新型コロナウイルス感染症対策や店舗閉鎖に関するご意見やお問い合わせが減少し、前年実績を大幅に下回る結果となりました。相談内容の内訳で見ると新しいフレジットアプリのサービス開始に伴うお問い合わせが増加しサービス関連のシェアが上がりました。

2021年度相談内容の内訳

受付件数7,719件(前年度比43.1%)



パートナーシップを通じて持続可能な社会を実現する

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
地域活性化への協力	●行政と連携した取り組みを継続強化 ●利便性向上と投票率向上のために、各選挙時に期日前投票所を設置し、お客様に告知 ●地産地消のさらなる推進 ●店舗周辺の清掃・環境美化活動、屋上を活用した緑地推進の継続実施 ●地域(行政、学校、企業、NPOなど)と連携したイベントを継続実施	●豊島区とのFFパートナーシップ協定による子育て支援イベントの定期開催など、店舗ごとに取り組みを実施 ●第49回衆議院議員選挙において期日前投票所を4店舗に設置(池袋本店、千葉店、福井店、東戸塚S.C.) ●お中元・お歳暮ギフトでの地域名産品紹介 ●各店にて店舗周辺の清掃を毎月実施、また池袋本店屋上「都市のオアシス」を解放 ●千葉店でのSDGsイベントや池袋本店での花咲くプロジェクトなど各店で地域連携イベントを実施	○ ○ ○ ○ ○	●自治体と締結している包括連携協定など、行政と連携した取り組みを継続実施 ●地産地消の推進 ●店舗周辺の清掃・環境美化活動の推進 ●地域(行政、学校、企業、NPOなど)と連携したイベントを継続実施

災害における支援

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
災害時の支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員教育の一環として、行政と連携した防災教育・訓練を継続実施 ●防災力を高めるために、消防署、行政との取り組みを地域事業者と連携して実施 ●行政関係者との連携強化に向け、地域事業者の代表として各種の訓練や取り組みに積極的に参加 ※帰宅困難者対策協議会、駅周辺混乱防止対策協議会、地域防災訓練は、行政機関、所轄消防署、地域事業者が実施可否を判断 	<ul style="list-style-type: none"> ●「防災とボランティア週間」「防災月間」「火災予防週間」に合わせ、各店舗で防災教育・訓練を実施 ●所轄消防署、地域事業者と連動した地域防災訓練、自衛消防審査会は、感染拡大防止対策により実施されず ●行政機関、地域事業者と連動した帰宅困難者対策協議会、駅周辺混乱防止対策協議会、地域共同防火・防災管理協議会は、感染拡大防止対策により実施されず 	<p>○</p> <p>—</p> <p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員教育の一環として、行政と連携した防災教育・訓練、自衛消防審査会参加など継続実施 ●防災力を高めるために、消防署、行政との取り組みを地域事業者と連携して実施 ●行政関係者との連携強化に向け、地域事業者の代表として、各種の訓練、取り組みへ積極的に参加

社会貢献活動

2021年度の活動目標・実績と2022年度の目標

○：達成 △：わずかに届かず ×：大きく未達成

課題	2021年度の目標・計画	2021年度の実績・成果	評価	2022年度の目標
お客様参加型の社会貢献活動の継続				
	<ul style="list-style-type: none"> ●こども靴の下取りを継続(8店舗) 累計目標106万足 ●盲導犬育成事業に継続協力 ●植樹本数：1,500本 	<ul style="list-style-type: none"> ●こども靴下取り：累計107万足 ●各店募金箱設置とキャンペーンの実施 累計募金額：6億9,929万円 ●グリーンラッピング、簡易包装推奨等での新規植樹：2,253本(累計18,233本) 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●こども靴の下取りを継続(8店舗) 累計目標：114万足 ●盲導犬育成事業に継続協力 累計募金額：7億2,500万円 ●植樹・育樹活動を継続 累計植樹本数：19,250本